

## 令和3年度座談会「町長と語ろうまちづくり」(山北地区)

開催日時	令和3年11月10日(水)午後6時から午後8時15分
場所	生涯学習センター多目的ホール
町民参加者	25人(40代以下1人、50代4人、60代以上20人)
町出席者	町長、副町長、教育長、参事兼企画政策課長、参事兼都市整備課長兼新東名対策室長、総務防災課長、保険健康課長、商工観光課長、上下水道課長、生涯学習課長、議会事務局長、会計課長、事務局3人

### 出席者からの主な意見や提案

#### 《テーマ：防災対策について》

- 全国各地で風水害が発生しており、大きな被害が出ている。山北町においても、令和元年の台風19号で、皆瀬川浄水場の導水管が破損し断水被害も生じたが、その後対策はどのように進められているのか。
- ハザードマップが配付されているが、山北地区においても、多くの面積が土砂災害警戒区域等に指定されており、地球温暖化により降雨量が多くなると、土砂災害が発生する可能性が高くなると思う。災害時の防災情報として、警戒レベル3は「高齢者等は危険な場所から避難」、レベル4は「危険な場所から全員避難」、レベル5は「災害が発生又は切迫しており直ちに安全確保」となっており、いずれも町長が発令することになっているが、町民全員に知らせる方法は確立されているのか。
- 私はあんしんメールを知らず、登録もしていない。これまでも周知はされているかと思うが、そのような便利なツールがあるのであれば、再度、町民に対して周知した方がよいのではないか。よいサービスだと思うので、休止することなく継続して周知していく必要があると思う。
- 台風や大雨だけでなく大規模地震も懸念している。現状はどのくらい備蓄しているのか。必要な食糧等の備蓄品は、救援物資が届くまで最低3日分と言われているが、大規模災害の場合には7日分とも言われている。町の備蓄品だけでなく、自治会や個人が備蓄している分を合せて7日分確保されていけばよいが、そうでなければ、備蓄を促すような周知もしていく必要があるのではないか。また、自治会とも連携しておく必要があるのではないか。
- 防災無線の戸別受信機が聞き取りづらい。過去に、性能のよい戸別受信機が導入されるという話を聞いたが、いつから導入されるのか。

### 《テーマ：国道 246 号線について》

○バイパスの開通に伴い渋滞が解消されるかと思いきや、改善されず渋滞が常態化している。南足柄市から来る車が宮地交差点を通過せず、室生神社前の町道に車が迂回するなど、付随した問題も生じてきており、町としてどのような対策を考えているのか。例えば、南箱道路（はこね金太郎ライン）が開通したが、そちらを通行するよう町として誘導するような周知を図ることはできないか。

### 《テーマ：山北地区の活性化対策について》

○商店街の閉店が増えている。高齢化が進み、運転免許の返納者も増えると買い物に行きたくても行けなくなる人が増えてくるため、町内循環バスの運行間隔を短くしたり、手を上げれば乗車できるようなシステムにはできないか。また小型車による移送を導入してはどうか。

○コロナ禍で商店が閉店しており、買い物に困っている人が増えている。農協と町で協力して、週に何回か移動店舗を行っていただけないか。また、免許を返納して車を運転できない人が多くなってきている。社会福祉協議会でおでかけ号を実施しているが、車両台数が3台しかないので増やして欲しい。おでかけ号は利用する条件も厳しいので緩和できないか。現在、清水・三保地区で試行運行しているデマンドタクシーを山北地区でも実施してもらえないか。

○民生委員をしているが、買い物の不便さを訴える一人暮らしの高齢者が多い現状がある。例えば、役場近くから怒杭文化へ向かう町道を、町内循環バスの運行ルートに加えてもらうことはできないかといった声もある。大きな車両でなく小さな車両で細かく回れる方法が考えられないか。また、社会福祉協議会のおでかけ号も介助者がいなければ乗車できず、制限があり利用しにくいので、何か考えていただきたいと思う。

○若者の移住者を増やしていくことが必要と考えている。丸山の住宅地が完売したと聞いたが、それが一つのヒントになるのではないか。丸山からダイヤモンド富士が見え、撮影に訪れる人もいるという。山北町に住むメリットをどのように考えているか。

○広報やまきたに掲載されている「お誕生おめでとう」を見ていると、今年1年間、生まれた子どもが少ないように感じており、今後の山北町はどうなるのか心配である。また、若者の就職先については町外が多いかと思う。働き暮らしていける町づくりをどのように考えているのかお聞きしたい。

### 《テーマ：その他》

○健康福祉センターの利用について、コロナ禍の影響で閉館時間が21時から20時となっているが、プールと温泉を利用するにあたり、仕事をされている方や町外から来られ

る方にとって 20 時閉館では利用が難しい状況がある。少しでも長く開館時間を延長していただくことはできないか。この施設は、近隣市町の方も利用されており、プールと温泉が一緒になった山北町が誇れる施設であるので検討して欲しい。また、プールの機械の故障により浮力を使ってのトレーニングができない状況であるので、早く直して欲しい。

- 自治会について問題提起させていただきたい。私の自治会では輪番制で自治会長を回しているが、今後 80 歳代の方々にお願いしていくことは難しいだろうということで話し合いを持ち、若手にシフトしていこうという結論に至ったが、そこにもいろいろな課題があると考えている。1つ目として自治会長や組長等の役へのストレスがあり、輪番制にも限界が来ている。2つ目として自治会や組の仕事へのストレスがある。大変で誰にでもできる仕事ではない、仕事をしている人には難しい、若いうちは無理であるといった認識が強い。しかし、定年後の適任な人がいるかといえばそうではなく、現状、セカンドキャリアに進む人が多く、受け手が少ない。また、若い世代の自治会への意識は希薄になってきている。子ども会や夏祭り、旅行等がなくなり、地域コミュニティが減った状況において、自治会の役割や意義、存在への理解、浸透が進まないと感じている。現状は、町からの連絡事項の伝達や、自治会要望等の意見の吸い上げに留まっており、本来の自治会活動への意識は低い状況となっている。これまでやってきた過去の延長線上ではなく、何らかの改革が必要であり、若い人と一緒に取り組んでいく必要がある。昔の概念や価値観を押し付ける事はせず、若い人が積極的に参加していただけるようにしていかなければならない。誰でもできる、特別な人が行うものではないといった認識をもってもらい、若い人も交えて自治会を運営していく必要があると考える。